令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	広報広聴事業				コード	06270100-0101	
中事業名	広報紙発行事業				計画区分	―	
担当部等	総合政策部			担当課等	情報広報課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	06	地域の自治力と行政経営力を高める		会計	1	一般会計
	基本施策	27	広報・広聴		款	02	総務費
	主要施策	01	広報活動の充実・深化		項	01	総務管理費
					目	02	文書広報費
					大	01	広報広聴事業
					中	01	広報紙発行事業
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	市が実施する事業や手続き、申請の案内、催し物の情報などを市民に周知するため、広報紙を月に1回発行し、全世帯に届ける。
対象	日進市民
意図（目的）	広報紙を作成、配布し、市の情報を伝える。
手段	広報紙「広報にっしん」の制作及び全世帯への配布

2　実施結果「DO（実施）」

			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
事業費（千円）			28,393	24,927	30,611	26,623	31,145	27,084	34,263
財源内訳	特定財源	国庫支出金	149	153	151	159	151	164	150
		県支出金	75	63	75	80	75	85	75
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1,494	1,492	1,508	1,508	1,508	1,508	1,508
	一般財源		26,675	23,219	28,877	24,876	29,411	25,327	32,530

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	引き続き市民意識調査で市民から要望の高い、「健康案内・医療制度」「催しの開催案内」「施設の利用案内」といった、実生活に必要な情報をわかりやすく周知できるよう、適切なページ数を考え、読みやすい広報紙の発行を進めていく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	引き続き広報紙内の基本レイアウトの統一等読みやすさを踏まえた改善を行っていく。また、情報のトレンドについて情報収集を継続して行う。

令和 3年度に取り組んだこと	市民意識調査で市民から要望の高い、「健康案内・医療制度」「催しの開催案内」「施設の利用案内」といった、実生活に必要な情報をわかりやすく周知できるよう、適切なページ数を考え、読みやすい広報紙の発行を進めていった。

成果	広報紙内で福祉関係、学校関係など、関連する内容について掲載順序を近づけるなど、読みやすさを踏まえた改善を行った。
課題	従前から進めている縦書きと横書きが入り混じらないようにする掲載順序の選定と両立しない場合があることが課題である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	市からの情報発信は、適切な情報を正しく伝えることが必要であるが、ホームページの情報は必ずしも多くの世代に伝わるものではなく、より広い世代に伝えるため、継続して広報紙を発行する必要がある。また、広報紙について苦情や問い合わせはほぼないため、わかりやすさについて一定の評価を得ているものと考える。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	引き続き市民意識調査で市民から要望の高い、「健康案内・医療制度」「催しの開催案内」「施設の利用案内」といった、実生活に必要な情報をわかりやすく周知できるよう、適切なページ数を考え、読みやすい広報紙の発行を進めていく。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	引き続き広報紙内の基本レイアウトの統一等読みやすさを踏まえた改善を行っていく。また、情報のトレンドについて情報収集を継続して行う。				

【アウトプット指標】

指標名	広報紙発行部数					単位	部
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	474,000.00	478,450.00	477,000.00	470,022.00	477,000.00	490,580.00	507,600.00

【アウトカム指標】

指標名	市民スタッフとの協働による紙面（コーナー）の見直し件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	5.00	10.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
式	市民スタッフとの協働による紙面（コーナー）の見直し件数						
指標の狙い	微細な部分でも市民目線を取り入れることで、より読みやすい広報紙を発行することができる。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	広報広聴事業				コード	06270200-0102	
中事業名	広報広聴活動事業				計画区分	―	
担当部等	総合政策部		担当課等	情報広報課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	06	地域の自治力と行政経営力を高める		会計	1	一般会計	
基本施策	27	広報・広聴		款	02	総務費	
主要施策	02	広聴の推進		項	01	総務管理費	
				目	02	文書広報費	
				大	01	広報広聴事業	
				中	02	広報広聴活動事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	ホームページの運営管理、「声の広報」の発行、映像番組の制作・放送、市政情報の発信、出前講座の取りまとめを行う。
対象	日進市の情報を得ようとしている人
意図（目的）	インターネットまたは映像を用いて、市の情報を伝える。
手段	ホームページの制作・公開、「声の広報」の制作、「映像番組」の制作、報道機関への情報提供による市政情報の発信、出前講座の取りまとめ

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			13,923	13,407	14,212	9,638	10,873	10,107	10,697
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1,495	1,256	1,508	1,256	1,508	1,351	1,508
	一般財源		12,428	12,151	12,704	8,382	9,365	8,756	9,189

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	引き続き、市民の声などを反映し、見やすい画面構成にするなどして、ホームページ作成システムを運用する。また、にっしんテレビについては、令和２年度愛知県広報コンクールにおいて入選しており、一定の評価を得たものと考えるため、引き続き適切な情報発信に努める。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	市民のニーズを把握し、より適切な情報発信に努める。

令和 3年度に取り組んだこと	市民の声などを反映し、見やすい画面構成にするなどして、引き続きホームページ作成システムを運用した。にっしんテレビについて、特殊詐欺への備えなど時宜に適した内容の選定に注力した。

成果	引き続き新型コロナウイルス感染症に関する情報のニーズが高い状態であったため、ホームページトップ画面のレイアウトを維持し、容易に情報が得られる状態を保った。
課題	市民のニーズが多様であり、その全てを充足させることは困難であるため、より大きなニーズを適切に把握することが課題である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	市民の情報ニーズに対し適切に対応することができ、今後もニーズに応じた対策を行う必要があるため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	引き続き、市民の声などを反映し、見やすい画面構成にするなどして、ホームページ作成システムを運用し、適切な情報発信に努める。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	市民のニーズを把握し、より適切な情報発信に努める。				

【アウトプット指標】

指標名	お知らせメール（すぐめーるプラス）登録者数				単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
			9,000.00	9,240.00	9,400.00	10,600.00	10,800.00

【アウトカム指標】

指標名	ウェブサイト上で公開されている市ホームページが ウェブブラウザで開かれた（表示された）回数					単位	回
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	3,500,000.00	3,672,732.00	3,800,000.00	5,555,783.00	4,200,000.00	5,175,768.00	4,000,000.00
式	ウェブサイト上で公開されている市ホームページが ウェブブラウザで開かれた（表示された）回数						
指標の狙い	市のホームページ閲覧回数はページビュー数と比例するため、この数値が高くなればそれだけ多くの人に市ホームページが閲覧され、情報提供できていることにつながる。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	情報化推進事業				コード	06300500-0701	
中事業名	情報化推進事業				計画区分	①	
担当部等	総合政策部			担当課等	情報広報課		
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	06	地域の自治力と行政経営力を高める		会計	1	一般会計	
基本施策	30	行政運営		款	02	総務費	
主要施策	05	市民満足度が高く効率的かつ迅速な市民サービスの提供		項	01	総務管理費	
				目	06	企画費	
				大	07	情報化推進事業	
				中	01	情報化推進事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	「日進市ICT推進のための基本方針」に基づく情報化推進を実行するために、ICTがもたらす効果や可能性を注視し、最大限に利活用するためのソリューションを調達し、DXの推進を行う。
対象	市民、市職員及び市が実施する事業
意図（目的）	社会のデジタル化の進展に伴い、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させる。 また、将来的な労働力の供給制約を鑑み、住民に不可欠な行政サービスを提供し続けるために、AI・RPAのような最新技術の活用により業務効率化を図る。
手段	尾三地区情報システム共同研究会等への参加、電算システム業務の調査研究・導入・更改・改修、庁内研修・説明会の実施、RPA作業部会の立ち上げ

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			0	0	7,753	0	4,570	10,804	60,396
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	402	32,409
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	7,753	0	4,570	10,402	27,987

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	AI-OCR及びRPAを活用し、「入力・登録作業」や「確認・照合作業」等定型的な事務業務の自動化を進めるためのシナリオを作成する。また、保育士含む全職員がビジネスチャット（LoGoチャット）を使用できるようにする。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	スマート窓口やキャッシュレス決済を導入し市民に使いやすい窓口及び業務効率化を目指す。また、チャットボット等を導入し、簡単な問い合わせを市ホームページやLINEなどで案内することができるようにする。なお、各種システム、ネットワーク等の運用管理・修繕・更改に関する事業は情報管理事業に移管する。

令和 3年度に取り組んだこと	人事課業務（児童手当現況届確認データの照会・取得・転記）のRPAシナリオ作成、保育士含む全職員へのビジネスチャット(LoGoチャット)の使用範囲拡大及びペーパーレス会議システムの導入を行った。

成果	RPAの運用開始(試験)による業務時間の削減、ビジネスチャット及びペーパーレス会議システムの導入・利活用による資料準備や連絡業務の簡素化が進んだ。
課題	R4年度にRPAの本格運用を開始する予定であるが、業務担当者のRPAに対する積極性に温度差がある。業務全体を通じて高い効果が期待できる業務の掘り起こしが必要である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	RPA、ビジネスチャット及びペーパーレス会議システムの導入により業務時間の削減に繋がった。今後は広く全庁的に拡大し効果をあげていきたい。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		RPAの本格運用に伴い10業務を目標にシナリオを作成する。また、国が示す27業務についてオンライン申請を可能とすることを目的とし、基幹系システムの標準化対応に向けた標準仕様書とのFit&Gap行う。			
今後の方向性	成果	●拡充	○維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	●拡大	○維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		基幹系システムの標準化（R7予定）、スマート窓口の導入及び手数料のキャッシュレス対応、ガバメントクラウド対応、自治体DX（働き方改革・テレワーク推進等）の推進に向けたネットワークやICT機器等の整備を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	削減業務時間					単位	時間
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
			2.00	2.00	31.00	105.00	150.00

【アウトカム指標】

指標名	削減人件費					単位	円
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
			10,000.00	10,000.00	267,715.00	525,000.00	750,000.00
式	時間×人件費想定単価						
指標の狙い	RPA導入による費用対効果を図る						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	情報化推進事業				コード	06300500-0702	
中事業名	情報管理事業				計画区分	―	
担当部等	総合政策部			担当課等	情報広報課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	06	地域の自治力と行政経営力を高める		会計	1	一般会計
	基本施策	30	行政運営		款	02	総務費
	主要施策	05	市民満足度が高く効率的かつ迅速な市民サービスの提供		項	01	総務管理費
					目	06	企画費
					大	07	情報化推進事業
					中	02	情報管理事業
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	「日進市ICT推進のための基本方針」に基づく施策を実現するための基盤となる基幹系業務システム（総合情報システム・総合福祉システム等）、情報系業務システム（グループウェア・内部事務システム等）、インターネット環境、庁内ネットワーク環境、職員用パソコンなど本市が保有する情報資産の運用管理及び計画的な更改を行う。
対象	市民、市職員及び市が実施する事業
意図（目的）	安定的な行政運営を確保し、市民サービスの質の維持・向上を目指す。（市民の情報リテラシーの向上、行政事務の効率化及び経費の削減、情報社会に適応したICT環境の整備等）
手段	尾三地区情報システム共同研究会等への参加、情報システムやネットワーク等の調査研究・導入・更改・改修、ICT部門における業務継続計画の策定等。

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			0	0	0	0	244,121	230,038	247,487
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	465	0	3,282
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	0	0	243,656	230,038	244,205

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	

令和 3年度に取り組んだこと	課長以上PCの2in1タブレット化及び庁内ネットワークの一部無線化、仮想サーバ基盤更新に伴う基盤のHCI化及び仮想基盤上の各種システムの更改、テレワークの更なる推進を目的としたiPadの拡充、インターネット強靭化環境の更改を行った。
成果	2in1タブレット化や庁内ネットワークの一部無線化により、業務のペーパーレス化が推進された。また各種システム更改により事務効率が向上した。
課題	2in1タブレット化が課長以上と限定的であるため、業務のペーパーレス化対応も限定的となっている。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	
評価の理由	最新のセキュリティに対応したICT環境の構築やシステム保守及び定期的な更改は運用上必要である。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		ネットワーク認証システムをはじめとしたセキュリティシステムの更改、係長から主幹までのPCの2in1タブレット化による更なるペーパーレス化の推進。			
今後の方向性	成果	●拡充	○維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	●拡大	○維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		地理情報システム（GIS）の更改、庁内ネットワークの更改を行う予定である。			

【アウトプット指標】

指標名	ペーパーレス会議システムによる会議実施数					単位	回
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					5.00	2.00	20.00

【アウトカム指標】

指標名	eラーニング受講者数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	40.00	48.00	60.00	82.00	90.00	84.00	90.00
式	講義数×受講者数						
指標の狙い	eラーニングの実施による情報リテラシーの底上げを図る						